



# 一中だより

令和6年度 第22号 令和7年3月26日(水)

## 本日で令和6年度の教育課程が修了します 1年間、ご理解とご協力、誠にありがとうございました

昨年4月8日の始業式・入学式に始まった令和6年度は、本日3月26日の修了式をもって教育課程を修了いたします。

私自身、4月8日にスタートした当初は、令和6年度の1年間に対して「様々なことがあるんだろうな、長いだろうなあ…」と待ち受ける日々を(不安な気持ちもありながらも)漠然と思い描いておりました。今に至って、月並みな表現ではありますが、「楽しいことや嬉しいことがたくさんあった日々で、本当に短かった!」と実感し、令和6年度が去りゆくことを惜しむ気持ちが大半であることが正直な気持ちです。



今年度は、夏休み期間の長期化や終業日・始業日における給食配食に伴う授業実施、中体連春季大会と総合体育大会の統合、学校行事の実施時期の見直しなど教育活動に多くの変更がありました。生徒は(特に2年生は昨年度との差違に)惑わされることなく、毎日の学校生活をしっかりと送ってくれていました。保護者の皆様にも時としてご迷惑をおかけした部分もあったかと存じます。しかし、そのようななかにあっても、大過なく1年間を乗り越えられましたのは、生徒の皆さんはもとより保護者の皆様のご理解・ご協力の賜物と感謝しております。

さて、日々学校生活を通して生徒と接していると、その成長ぶりになかなか気づくことが難しいのですが、1学期の写真などを見たり学習や生活の様子を思い起こしたりして今と比べてみると、一人ひとりが一回りも二回りもしっかりと成長したことが感じられます。中学校は(小学校の6年間と比べると)3年間と短い期間ながら、学校生活における毎日が濃密かつ充実しており、生徒の成長の早いことそして伸長の大きいことに改めて驚かされます。生徒たちは、本校で日々学びを積み重ね、大人になるための知恵や知識を確実に身に付けてくれていると実感しております。1年生は1年生なりに、2年生は2年生として、それぞれの発達段階に応じて頑張ってお過ごしできたと思返せる今年度でした。

3月も残り僅かとなりました。1週間も経たずに4月になります。新年度となる4月には、それぞれ1学年ずつ進級します。今年度に学んだことを礎に今より上位のステージでさらに成長して欲しいと願っております。進級することによって、今まで気づけなかった景色が見え、新たな目標を掲げることで、尚一層の奮起に期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様には、今年度、第一中学校の教育活動へご理解いただくとともにPTA活動・部活動後援会活動等の様々な面でご支援・ご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様のおかげで、生徒全員が有意義な学校生活を送れました。

大変お世話になりました。

## 新年度に向けての準備を始めています

年度末の3月に入り、少しずつ新年度に向けての準備を進めています。

いくつかの例を挙げますと、「給食配膳台の新調」があります。給食時に使用している配膳台がだいぶ古くなり、汚れが激しくなるとともに一部に不具合が生じてきました。そこで、新年度から使用する配膳台を購入し、3月に納入されました。また、夏の暑さ対策に向けて、「各階廊下の手洗い場(流し)の窓への網戸の設置」もしました。これまでは教室前の廊下の窓に網戸を設置することを優先しておりました。休み時間には、廊下の手洗い場(流し)に生徒が集中し混み合うこともありましたので、これで少しは風通しがよくなり暑さ対策の一助になることと思います。この他にも用具の新規購入・買い換えや施設設備の改善を少しずつ進めています。

新しい年度を迎えるにあたって、少しでも生徒の学校生活が不自由なく快適になるよう徐々に準備を始めています。



### 【萩原 敬之 教頭先生から】

## 1年を振り返って

先日、米大リーグのドジャースとカブスの開幕戦が開催されました。野球界のスーパースターの大谷翔平選手の人気と相まって空前の盛り上がりを見せました。数々の前人未踏の素晴らしい功績を残している大谷選手ですので、我々ファンもつつい期待をして、大谷選手を見てしまいます。日本での試合は期待通りにマルチヒット、ホームランとさすが大谷選手と今シーズンどんな活躍するか期待が高まります。

大谷選手はシーズンオフに次のシーズンに向けて前向きで意欲的な気持ちを持って過ごすようです。これまで経験したことやチームの状況、個人の目標とあらゆる角度からシーズンを考察し、来シーズンに向け、トレーニングを重ねています。また、チームメイトやスタッフとの絆も大切にしており、彼らと切磋琢磨しながらチーム全体のレベルアップを図ろうと考えて行動します。このような考え方、行動が、大谷選手のファンの期待を上回る素晴らしいパフォーマンスを生むのだと感じます。

この考え方は、年度末を迎えている私たちにも当てはまることかと思えます。私たちも大谷選手のように、今年度を振り返り、課題を明確に、次年度に向けて何をどのように努力していくかを考え、行動することで、目標や夢を達成できるのだと思います。来年度も、大谷選手のように自分の可能性を信じて、さらなる成長を目指していきましょう。新しい挑戦が待ち受けていることを楽しみつつ、皆さんの努力と成長する姿に出会えることを期待しています。

